



まつざき真琴

県議会ニュース

日本共産党

2013年9月22日号
9月議会速報

発行／日本共産党鹿児島県議団
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10-1 TEL/FAX 286-3977
E-mail kengidan@jcp-kagoshima.com HP <http://jcp-kagoshima.com>
★ブログ『まこっちゃんのいっぺこっぺ奮闘記』<http://matsuzakimakoto.synapse-blog.jp/>

自民党等から「家庭教育支援条例(案)」が提案される 条例案の問題点を指摘



9月議会に、自民党などから「家庭教育支援条例(案)」が提案されました。

まつざき真琴県議は、17日に質疑を行い、この条例案の様々な問題点を指摘しました。

条例提案の背景について

今、自民党は、全国の自治体で「家庭教育支援」と題する条例を制定し、「親学」※を推奨する運動を展開しています。

この条例の内容は、現在の子どもたちをめぐる様々な問題は、家庭教育に責任があるとして、「親としての学び」を進めることを義務づけるものになっています。

子育て支援への社会変革の課題を隠してしまう

大分県教育委員会が作っている「おおいた『親学のすすめ』読本」には、家庭での様々な場面での親としての対応が示されています。もちろん、参考になるものも含まれていますが、家庭の中での親の対応にだけ着目させることになり、子育てしやすい社会へと変革していく課題、子どもが安心して楽しく学び成長できる学校や社会を作っていく課題が見えなくされてしまいます。

男女共同参画社会に逆行する内容

大分の『読本』には「母親のふところは蜜の味」として「母親の温かさ、温もりやさしさなどは子どもの健全発達にとって必要不可欠」「温かさ、やわらかさ、やさしさを有する母親」「父親は社会で生きていくうえでの必要な厳しさ、ルール、耐性や正義などを伝え教えていく存在」としており、これは性別による役割分担意識を助長するもので、男女共同参画社会に逆行する内容です。

※「親学」とは？

安倍首相が会長である「親学推進議員連盟」で推奨しているもので、全国組織の「親学推進協会」の会長は高橋史朗氏が務めています。

高橋氏は「新しい歴史教科書をつくる会」の元副会長であり、「新しい歴史教科書をつくる会」の公民教科書の監修者でもありました。

教育に関するたくさんの著書の中に、「物語で伝える教育勅語—親子で学ぶ12の大切なこと」「ちょっとまって夫婦別姓」「私たちの美しい日の丸・君が代—子供たちに伝える国旗・国歌物語」などがあります。